



《校訓》 ⑤みずから進んで ②ともに考え ④やりぬく生徒

三刀屋中学校だより

令和5年9月

TEL 45-2421

文責 上代

※本校のホームページ随時更新中！ぜひご覧ください！<http://shimane-school.net/unnan/mitoya-chu/>

体育祭

9月9日（土）に令和5年度三刀屋中学校体育祭が開催されました。生徒会では「全校生徒がこの体育祭を通して、様々なことに挑戦してほしい、そして全力で戦い抜いてほしい」という願いを込めて、体育祭スローガン「いざ出陣～突き進め挑戦者（プレイヤー）～」を掲げて、準備や練習を進めてきました。3年生のリーダーシップで計画的に準備が進められ、また下級生も楽しく参加できる雰囲気があり、全校生徒のとてもよい笑顔が見られる体育祭となりました。

PTA 保体部を中心に、テントの設営、片付けにご協力いただいた皆様、たいへんありがとうございました。



少年の主張 雲南市大会

8月30日（水）に木次中学校において、「少年の主張雲南市大会」が開催されました。各中学校から選出された学校代表がそれぞれの主張を堂々と述べていました。本校からは、1年2組の岩橋愛采さんが代表として出場し、論調や態度に校内大会よりもさらに磨きをかけ、聞き手によく伝わる話し方で発表しました。審査員からは「説得力のある論調、表現力素晴らしかったです。ミュージカルでの体験と吹奏楽での取組をうまく結びつけました。「当たり前」の積み重ねた先にある『特別』の景色」ととても素敵な言葉だと思いました。」など高い評価を受け、「優秀賞」に選ばれました。



領土問題を学んで！

8月7日（月）～10日（木）に、北方領土返還要求運動都道府県民会議主催の令和5年度北方領土青少年等現地視察事業に本校より、2名の生徒が参加しました。その感想を紹介します。

谷戸誉さん（3年1組）

僕は、4日間の北方領土青少年等現地視察事業に参加させてもらい、元島民の方や北方館の副館長さんのお話を聞かせていただきました。領土問題解決とは、北方領土が日本固有の領土であるという立場を踏まえつつも、お互いの国が“これでよかった”と思える結果にならないことだと改めて感じました。今回自分の目で見て聞いて感じたこと、北方領土返還要求運動に署名できたいことで、今後、領土問題早期解決のため、元島民の方々の思いを受け継いで、どんどん情報発信をしていかなければと強く思いました。誰もがこの問題を他人事と思わず、関心をもってほしいと思います。今もなお、故郷に戻れずにおられる元島民の方々のために。

原向日葵さん（2年2組）

元島民である得能さんのお話は、自分のふるさとのことを笑顔で語っておられて、私もふるさを大事にしたいと思いました。北方領土がふるさとである人がいるから、早く日本人も住めるようになることが大事だと強く思いました。自分にできることをしたいです。



各種大会・イベント

【島根県 U15 バasketボール選手権大会中部地区 1次予選会】

日時 9月2日(土)～3日(日)
会場 斐川第一体育館、斐川西中学校体育館
結果 三刀屋中 58-55 出雲二中
三刀屋中 64-55 DIABLO RED BULLS
三刀屋中 14-42 DAITO CLUB
三刀屋中 44-54 出雲一中



山内徹汰さん (バスケットボール部部長)

土曜日の一戦目は、この大会で一番いい試合ができたと思います。自分たちの成長が感じられる試合でした。三戦目はすごく強いチームでしたが、みんないい動きをしていました。しかし2日目の四戦目では、緊張感を欠いた試合となり負けてしまいました。一戦一戦気持ちを入れていきたいです。

【ほほ笑みミニコンサート (吹奏楽部)】

日時 8月25日(金)
会場 みとや世代間交流施設ほほ笑み



【U-I カップバレーボール大会】

日時 8月26日(土)
会場 三刀屋中学校体育館
結果 三刀屋中 0-2 大東中 三刀屋中 0-2 赤来中・頓原中
三刀屋中 2-0 横田中・仁多中 三刀屋中 0-2 木次中

石田理衣さん (バレーボール部部長)

U-Iカップの目標は1セットをとることでしたが、その目標を超える1勝をすることができました。その他の負けてしまった試合は声がでなかったり、ミスが多かったりとなかなか自分たちの力を発揮することができませんでした。これからの練習はミスをなくす努力をし、大きな声を出して練習をしたいです。

【陰陽剣道大会】

日時 8月27日(日)
会場 奥出雲町民体育館
結果 男子団体 1回戦 三刀屋中 1-4 猶興館道場
女子団体 1回戦 三刀屋中 0-2 出雲二中

廣澤李胡さん(剣道部部長)

新チームになって初めての大会で納得のいく結果を残すことができなかつたので、これから剣道部一丸となって稽古に励み、それぞれの目標が達成できるように日々努力していきます。

ボランティア活動

この夏、本校生徒は、地域へ出て数多くのボランティア活動に参加しました。中には一人で3回も4回もやったという人もいました。地域のために自分のできることをやろうと考えた生徒がたくさんいたことをとてもうれしく思います。



※〈お詫び〉8月の学校だよりにおいて、ソフトボール部部長の「白築実結さん」の名前を誤って「白築美結さん」と表記しておりました。大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

※7月に雲南地区保護司会三刀屋支部様より、9月に島根県更生保護女性連盟(飯石地区)様より、図書カードをご寄贈いただきました。大切に使用させていただき、学校図書館の書籍の充実につなげてきたいと思っております。たいへんありがとうございました。

※「おんせんキャンパス」より～学校での活動に不安や戸惑いのある子どもたちをサポート～

「雲南市教育支援センターおんせんキャンパス(所在地:木次町平田)」は、何らかの事情で「学校に行きづらさがある」「学校に行きたくても行けない」といった子どもやその保護者の方をサポートする居場所、学びの場です。子どもや保護者の方とお話をしながら、安心して生活し、活動ができるよう子どもを支えています。スタッフや他の子どもとゆっくり過ごしたり、遊んだり、一緒に勉強したりすることもできます。学校と連携をしており、登校するお手伝いも行っています。「おんせんキャンパスってどんなところ?」

「何をしているのだろう?」「スタッフはどんな人?」など興味を持たれましたら、この下の二次元バーコードにアクセスいただき、紹介サイトをご覧ください。

